

大田区立しいのき園

令和5年度(2023年度)事業報告

1, 運営方針

- (1) 利用者が施設の主人公になり、自己実現の場となる施設
- (2) 生き生きと過ごし、働く喜びを実感できる施設
- (3) 地域の中で働く、明るく楽しい施設

2, 職員等配置

- ・ 正規職員 13名
 - ・ 正規職員以外 5名 (非常勤職員 5名)
 - ・ 嘱託医 2名
- 合計 20名

3, 利用者受入等・平均工賃 *日数・%等は前年同期比

定員	開所日数	延べ利用者数	平均利用者数	稼働率		利用率	
60名	245日(+1日)	11,942名	48.8名	81.3%	+2.7%	88.7%	+5.5%
平均工賃月額		33,105円	前年度	33,053円	+52円		

※平均利用者数＝延べ利用者数÷開所日数(小数点第2位以下切り上げ)

※稼働率＝延べ利用者数÷(定員×開所日数)

※利用率＝延べ利用者数÷(在籍数55名×開所日数)

*新規利用者4名(4月1日付け:2名(新卒者)、1名(施設間異動)、1名(暫定から本利用切り替え))

*退所者3名(5月6日付け:1名(施設入所)、9月6日付け:1名(死去)、3月31日付け:1名(施設間異動))

4, 重点目標に対する取り組み状況

第5次経営改革プラン項目			回数・日付	人数	
Ⅲ 分野横断的な連携による複合的課題に対する包括的支援の推進					
Ⅳ 福祉人材の確保・育成・定着			回数・日付	人数	
1	利用者の想いに寄り添ったチーム支援と専門性の向上(権利擁護・虐待防止への取り組み)	内容	(1) 意思決定支援推進への実践 ⇒グループホーム利用及び成年後見制度利用手続きをサポートした事例 (2) 事例検討による利用者理解の促進及びチーム支援力の向上 ⇒他害・物損行為が多くみられる利用者についてケース会議にて事例検討を実施。うち1回は深谷塾(講師:深谷	通年 9回	1名 84名

			美枝明治学院大学教授による事例検討会) メンバーも参加。 (3) 新キャリアパス制度に対応した人材育成 ⇒計画的に東社協等の研修を受講	通年	全職員
第5次経営改革プラン項目					
I 面的支援体制整備の推進					
III 分野横断的な連携による複合的課題に対する包括的支援の推進				回数・日付	人数
2	利用者の将来像を見据えた作業・生活支援	内容	(1) 第三者評価受審結果を踏まえた利用者支援への取り組み ⇒自主生産品の新商品開発 (2) 新たな生産活動の展開 ⇒新作業の受注(おしぼりの検品・数量チェック作業) ⇒共同受注作業受入(寿祝い金封入) ⇒製菓の新商品開発・販売(ヘーゼルナッツケーキ) ⇒東京都障害者施設生産活動応援センター説明会への参加及び登録 (3) 余暇・通所支援の検討・実施 ⇒特別活動プログラム ⇒登降園時のバス停見守り	通年 8月～ 9月6日 8月～ 7月～ 4回 通年	— — 4名 — — 182名 —
第5次経営改革プラン項目					
II 地域に根ざした公益的な取り組みの推進				回数・日付	人数
3	しいのき園の持っている資源を活用して、地域交流の活性化を目指す	内容	(1) 地域向けのイベントの企画・運営 ⇒「福祉のまち糶谷」第9回夏のおまつりによる地域交流 ⇒糶谷文化センターまつりへの参加 ⇒「糶谷の元気を進める会」による糶谷地区スタンプラリーへのイベント協力 (2) 自主生産品を通して、展開する地域交流 ⇒まごめ園・のぞみ園と合同で、駅ビル内の文具店にて紙すき雑貨販売	8月20日 10月8日 11月23日 ～12月7日 4月～	134名 37名 — — —

第5次経営改革プラン項目			回数・日付	人数
V 社会の動向を踏まえた持続可能な経営基盤づくり				
4	安定的な事業所運営	内容 (1) 法令遵守の徹底 ⇒職員会議や非常勤職員ミーティングを通じて、法令遵守に関する事項を周知 (2) ICT化への取り組み ⇒LAN無線化工事を令和6年度予算に計上 (3) 利用率向上を目指した事業所運営 ⇒感染症対策を講じながら、行事などを含む通常開園・運営	12回	全職員
			通年	—
			通年	—

5. 年間行事

4月	入所式	10月	糎谷文化センターまつり
5月	なし	11月	宿泊訓練(山梨県石和温泉)
6月	新型コロナウイルスワクチン巡回接種 (通算6回目) グループ外出(2回)	12月	土曜開園(年忘れ会)
7月	グループ外出(2回) 利用者健康診断	1月	新年・二十歳を祝う会
8月	「福祉のまち糎谷」第9回夏のおまつり 令和5年度しいのき園ふれあい祭り	2月	土曜開園(音楽会)
9月	なし	3月	なし

6. 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修

	実施項目	具体的取組	回数・日付	人数
1	OJT・職場内研修	(1) サービス提供ガイドライン、各種業務標準を活用し法人キャリアパスに応じたOJT、業務モニタリングの実施 ⇒福祉経営・人材・働きやすい職場づくり研修 ⇒チームの中核メンバー研修 ⇒リーダーシップ・フォロワーシップ研修 ⇒チームメンバー研修	5月11日 5月29日 5月31日 7月27日	2名 3名 2名 1名

		⇒やさしさが伝わるコミュニケーション技術研修	7月31日	2名
			11月14日	1名
		⇒新任職員ブラッシュアップ研修	8月28日	1名
			11月30日	1名
		⇒ジュニアスタッフ研修	10月10日	1名
		⇒サービス提供ガイドライン研修 (正規職員)	1月24日	11名
		(非常勤職員)	2月5日	5名
		⇒チーミング研修	12月5日	2名
			1月16日	1名
		(2) 職場内研修の計画実施		
		① サービス管理、障害特性・支援技術等		
		⇒サポーターズカレッジ視聴	3回	32名
		② 虐待防止・権利擁護関連		
		⇒事業所虐待防止・人権委員会	11回	65名
		⇒サービス向上を目的とした職場内PTの取り組み	11回	全職員
		③ 危機管理・防災・応急救護等		
		⇒保護者対象の171災害伝言ダイヤルを実施	2回	55名
		④ 感染症対策・保健衛生等		
		⇒感染症対策委員会の実施検討	3月22日	5名
2	外部研修	① 障がい特性 2講座	2回	2名
		② リスクマネジメント 4講座	4回	4名
		③ 利用者支援・技法 3講座	3回	5名
		④ 福祉サービス・制度 2講座	5回	2名
		⑤ 経営・運営 5講座	5回	5名
		⑥ その他 3講座	3回	3名

7, その他特記事項